

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-33065
(P2000-33065A)

(43) 公開日 平成12年2月2日 (2000.2.2)

(51) Int.Cl.
A 4 7 L 13/00

識別記号

F I
A 4 7 L 13/00

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-202439

(22) 出願日 平成10年7月17日 (1998.7.17)

(71) 出願人 39003/154

大和ハウス工業株式会社

大阪府大阪市北区梅田 3 丁目 3 番 5 号

(72) 発明者 浦 徳人

大阪府大阪市西区阿波座 1 丁目 5 番 16 号

大和ハウス工業株式会社内

(74) 代理人 100104525

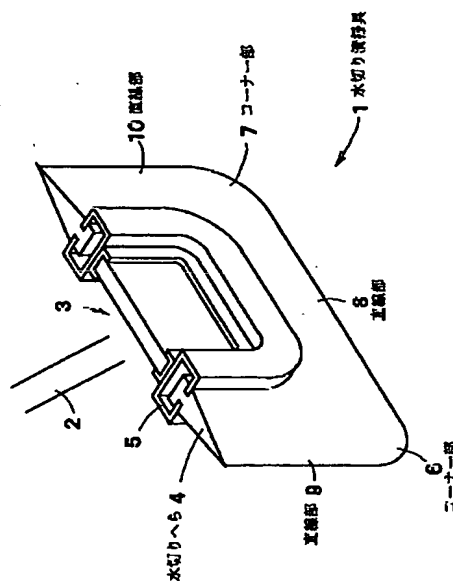
弁理士 播磨 祐之

(54) 【発明の名称】 水切り清掃具

(57) 【要約】

【課題】 食品工場の床の排水溝を、その隅部も含めて、労少なく、きれいな水切り状態に清掃することができる水切り清掃具の提供。

【解決手段】 弾力性を有する水切りへら4が備えられ、このへら4は、正面視コ字状で、排水溝内の隅部にフィットするコーナー部6、7を有する。また、コーナー部6、7に連続して、隅部を挟む両面にフィットする直線部8、9、10が備えられている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 弾力性を有する水切りへらが備えられ、該へらは、交差する清掃対象面間の隅部にフィットするコーナー部を有することを特徴とする水切り清掃具。

【請求項2】 前記へらは、コーナー部に連続して、隅部を挟む両清掃対象面にフィットする直線部を有する請求項1に記載の水切り清掃具。

【請求項3】 前記水切りへらが複数備えられ、これらへらが前後方向に隣接状態に並列されて備えられている請求項1又は2に記載の水切り清掃具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、水切り清掃具に関する。

【0002】

【従来の技術】例えば、食品工場の床の排水溝は、図5に示すように、食品衛生上の定めにより、排水溝12の内部の隅部15、16が曲面形状に形成されていて、モップやほうきで、この隅部15、16を清掃できるようにされている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、モップやほうきは、排水溝12の内部の隅部15、16にフィットさせて清掃を行うことができるものの、モップは、いわゆる湿式の清掃具であるため、清掃において溝内の水分をきれいに除去することができず、衛生面で必ずしも良好な清掃用具とはいえなかった。また、ほうきは、水が掃毛の間から逃げやすく、溝内の水分を除去するのに労力を要するものであった。

【0004】本発明は、上記のような従来の問題点に鑑み、例えば上記のような食品工場の床の排水溝を、隅部も含めて、労少なく、きれいな水切り状態に清掃することができる水切り清掃具を提供することを課題とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題は、弾力性を有する水切りへらが備えられ、該へらは、交差する清掃対象面間の隅部にフィットするコーナー部を有することを特徴とする水切り清掃具によって解決される。

【0006】即ち、この清掃具では、弾力性を有する水切りへらによって、労少なく、きれいに水切りしていくことができる。しかも、へらは、交差する清掃対象面間の隅部にフィットするコーナー部を備えているから、このコーナー部を用いて、その隅部をきれいに水切りしていくことができる。

【0007】また、へらが、コーナー部に連続して、隅部を挟む両清掃対象面にフィットする直線部を有するものとするにより、これら直線部とコーナー部とを用いて、隅部のみならず、隅部を挟む両清掃対象面をも同時に、きれいな水切り状態に清掃していくことができる。

【0008】更に、上記水切りへらが複数備えられ、これらへらが前後方向に隣接状態に並列されて備えられている構成とすることにより、清掃具の水切り性を一段と高いものにすることができる。

【0009】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施形態を図面に基づいて説明する。

【0010】図1に示す清掃具1において、2は柄、3はヘッドである。ヘッド3は、弾力性を有する水切りへら4と、へら保持フレーム5とを備えている。

【0011】へら保持フレーム5は、アルミニウムや鉄などの金属製のリップ溝型材を、リップ間開口部を外側にしてコ字状に曲げ成形して製作されたもので、コ字状開口側を上方に向けて備えられている。

【0012】水切りへら4は、例えば、合成ゴム、シリコン等の弾力性を有する材料からなり、正面視コ字状に成形されていて、外周側に、左右2つのコーナー部6、7と、左右及び下部の3つの直線部8、9、10とを備えている。各コーナー部6、7は、それぞれ曲線状に成形されていて、直線部8、9、10は、これらコーナー部6、7を介して連続されている。この水切りへら4は、内周側が厚肉で、外周側に向けて次第に肉薄となるようになっていて、外周側が弾性変形しやすく構成されている。そして、その内周厚肉部側が、上記の保持フレーム5のリップ間開口部を通じて同フレーム5内に嵌合されることによって、へら4がしっかりとフレーム5に保持されている。

【0013】図2には、この清掃具1を用いて、食品工場の床11の排水溝12の内部や、壁13と床11との交差する隅部14を清掃している状態を示している。

【0014】排水溝12内の清掃においては、図2（イ）に示すように、水切りへら4の下部直線部8を排水溝12の底面に、一方の側面直線部9を排水溝12の一方の側面に、それぞれ弾力的に当接させ、図2（ロ）に示すように、清掃具1を排水溝12の延びる方向に移動させていく。これにより、両直線部8、9の間のコーナー部6も、排水溝12の一方の隅部15に弾力的に当接され、この隅部15がきれいに水切りされる。また、水切りへら4の下部直線部8を排水溝12の底面に、もう一方の側面直線部10を排水溝12のもう一方の側面に、それぞれ弾力的に当接させ、同じように、移動させていくことにより、両直線部8、10の間のコーナー部7も、排水溝12のもう一方の隅部16に弾力的に当接され、この隅部16もきれいに水切りされる。以上のようにして、排水溝12内が、その隅部15、16も含めて水切り状態のきれいな清潔な仕上がりに清掃される。なお、水切りへら4のコーナー部6、7は、排水溝12の隅部15、16の曲率半径と同じ、例えば50mmなどの曲率半径に設定しておくといよい。

【0015】また、この清掃具1は、図2（イ）に示す

ように、壁13と床11の交差隅部14を、同様に、きれいな水切り状態に清掃することができる。もちろん、この清掃具1のへら4の下部直線部8を用いて床面11の清掃を行うことも可能である。

【0016】図3に示す変更例は、水切りへら4として、正面視L字形のものが用いられており、その外周側に、1つコーナー部6と、左右一方及び下部の2つの直線部8、9とが備えられている。この清掃具1では、排水溝12の清掃において、へら4の向きを前後させることによって、排水溝12内の両隅部15、16を水切りしていくことができる。壁13と床11の交差隅部14についても同様である。

【0017】図4に示す変更例は、水切りへら4を複数、例えば図示のように2つ、前後に隣接状態に並列させて備えさせているもので、水切り性能に優れている。

【0018】以上に、本発明の実施形態を示したが、本発明は、これに限定されるものではなく、発明思想を逸脱しない範囲で各種の変更例が可能である。例えば、へらのコーナー部は、丸味のない角張ったコーナー部に形成されていてもよい。清掃対象の隅部が角張った隅部であるような場合には有効であるし、また、隅部が曲面に形成されている場合であっても、へらの有する弾力性によって、角張ったコーナー部を隅部にフィットさせて隅部をきれいに水切りしていくことができる。また、本発明の清掃具は、食品工場の清掃に限らず、隅部を有するような各所の清掃に便利に用いることができるものであることはいうまでもない。

【0019】

【発明の効果】上述の次第で、本発明の清掃具は、コーナー部を有する弾力性のある水切りへらが備えられたものであるから、交差する清掃対象面隅部を、へらのコーナー部を用いて、労少なく、きれいな水切り状態に清掃することができる。従って、例えば、食品工場の床の排水溝を、その隅部も含めて、労少なく、きれいな水切り状態に清掃することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施形態の清掃具を示す斜視図である。

【図2】使用状態を示すもので、図(イ)は横断面図、図(ロ)は縦断面図である。

【図3】清掃具の変更例を示す斜視図である。

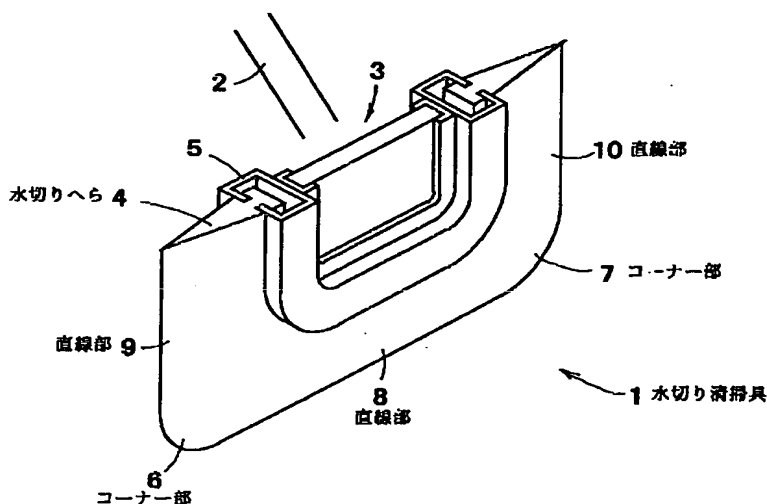
【図4】清掃具の他の変更例を示す斜視図である。

【図5】食品工場の床の排水溝の断面斜視図である。

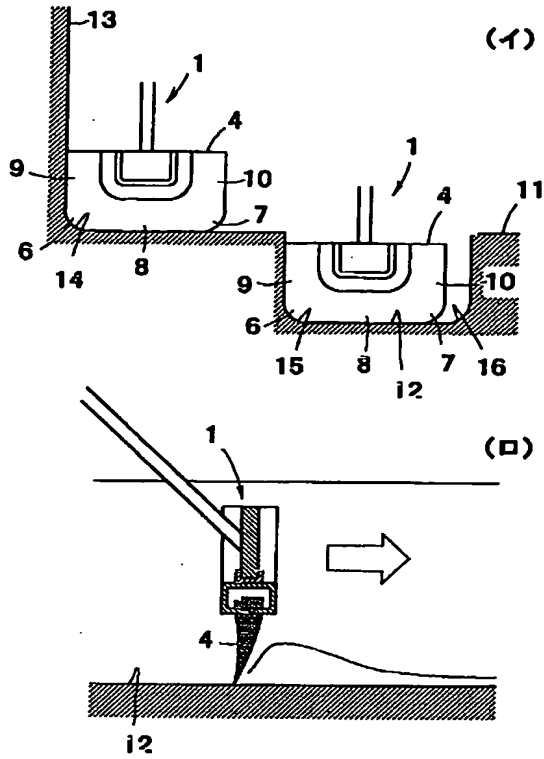
【符号の説明】

- 1…清掃具
- 4…水切りへら
- 6…コーナー部
- 7…コーナー部
- 8…直線部
- 9…直線部
- 10…直線部
- 12…排水溝
- 15…隅部
- 16…隅部

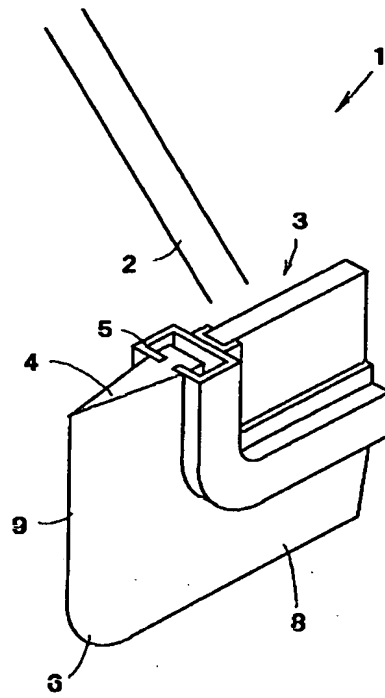
【図1】



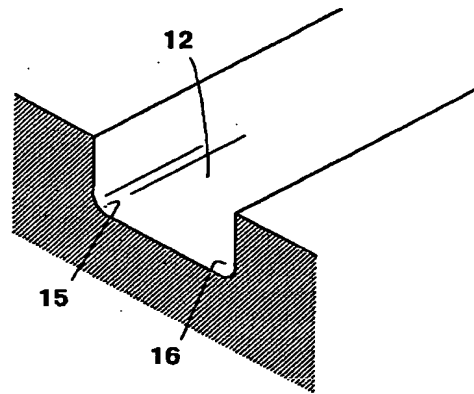
【図2】



【図3】



【図5】



【図4】

